今年度の募集は終了しました。
来年度は2024年3月から応募開始予定です。

第25回
自動認識システム大賞

作品募集

自動認識システム大賞は、先進的かつ導入効果が極めて顕著な自動認識技術やシステムを表彰するもので、自動認識システム大賞、優秀賞ほか、各賞に賞状・副賞が授与されます。

大　賞	1作品（賞状、賞金30万円）	産経新聞社賞	1作品（賞状、賞金）
優秀賞	2作品（賞状、賞金10万円）	特別賞※	1作品（賞状、賞金）

※新規性、導入効果、社会的価値、実績等の審査項目において、秀でたものがあれば対象となります。

自動認識システム大賞 応募要項

■募集対象

自動認識に関する技術やシステムで、国内で実用されている、または実用の目途が立っているもの。海外で構築されたシステムは国内の導入実績があるもの。日本国内の企業、団体、個人でご応募ください。

■応募方法

以下の項目について指定の申請書に記述して、当協会にお送りください。（容量5MB以下はe-mail、以上はCD-Rで送付）

1. **技術分野**：バーコード、RFID、画像認識、生体認証など
2. **申請テーマ**：簡潔で分かりやすい名称を30文字以内で記述
3. **申請会社名**：会社・団体、担当者、所在地、連絡先など
4. **共同申請会社**：共同申請会社・団体がある場合、応募1作品につき、最大3社・団体まで
5. **ユーザー名**：会社・団体、担当者、連絡先など
   公表できない場合は業界を明らかにすること
6. **システム概要**：技術やシステムの概要を300文字以内で記述
7. **申請内容詳細**：**新規性**／技術、市場、企画などの見地で記述
   導入効果／経済面、品質面、利便性を記述
   社会的価値／公共性、環境、社会貢献度を記述
   実績／導入実績、導入予定等を記述
8. **機器、システム構成**：写真や動画、図表を使って記述
9. **補足資料**：優位性を説明する資料があれば同封

■募集条件

受賞者は、当協会が設定するセミナーなどで、プレゼンテーションを行っていただきます。また、当協会が出版、寄稿する際に、受賞作品の掲載協力をお願いします。

■日程

●募集開始　2023年3月1日（水）
●締め切り　2023年5月31日（水）

審　　査：予選審査及び最終審査を行います。
予選審査を通過した申請者は、最終審査でプレゼンテーションを行っていただきます。
（但し、交通費は自己負担でお願いします）

結果発表：2023年7月31日（月）
当協会Webサイトほかで公表します。

表 彰 式：2023年9月13日（水）＊第25回自動認識総合展会場にて開催予定

■お問い合せ

（一社）日本自動認識システム協会 事務局
Phone　03−5825−6651
system-award2023@jaisa.or.jp
www.jaisa.or.jp

自動認識システム大賞は、JAISAによる
自動認識の普及・啓発のための事業です。

JAISA
Japan Automatic Identification Systems Association

第25回自動認識システム大賞

応募書類作成要領

以下の1～9までの項目について記述してください。
なお、指定フォーマットはWebサイトに掲載しています。

1. 技術分野
以下の項目で該当するすべてを記述してください。（複数回答可）
バーコード（一次元シンボル）、二次元シンボル、RFID（RFタグ）、ICカード、NFC、磁気カード、OCR、画像認識、バイオメトリクス（指紋・顔貌・静脈・音声・虹彩・掌形の認証）、その他

2. 申請テーマ
内容を的確かつ具体的に表現し、簡潔で分かりやすい名称を30文字以内で記述

3. 申請会社名・団体名
記入項目は、会社名・団体名、担当者名、所属名、役職名、電話番号、Fax番号、E-mail

4. 共同申請会社・団体
共同申請会社・団体がある場合は記入欄に共同申請会社名・団体名を記入
※応募作品1点につき、最大3社・団体までとします。

5. ユーザー名・団体名
記入項目は、会社名・団体名、担当者名、所属名、役職名、電話番号、Fax番号、E-mail
※公開して良い場合のみ記入、非公開の場合は会社名の欄に業界名を記入してください。

6. 概要
申請した技術やシステムについてその概要を150字程度で記述
※過去に、受賞履歴がある場合は、申請書の6.概要に受賞履歴を記し、前回の申請と異なる点を記述願います。
※国外で構築されたシステムは、国内での導入実績があるもを対象とします。

7. 申請内容の詳細
申請した技術やシステムに関し、以下の項目について強調したい事項を中心に記述
A. 新　規　性 ： 技術的新規性、市場的新規性、企画的新規性
B. 導 入 効 果 ： 経済的導入効果、品質的導入効果（定量的に）、利便性
C. 社会的価値 ： 公共性、環境性、その他（特筆すべき社会貢献度）
D. 実　　績 ： 導入実績（定量的に）
※まだ実績がない場合は導入予定。

8. 機器、システム構成
申請した技術やシステムについて写真、図等を使用し記述（別紙可）

9. 補足資料
申請した技術やシステムの優位性を説明する補足資料があれば提出

ご参考　過去の受賞作品はWebサイトをご覧ください。 **https://www.jaisa.jp/award/history.html**